

平成 2 2 事業年度

# 決 算 報 告 書

国立大学法人佐賀大学



(様式2)

## 平成22年度 決算報告書

国立大学法人佐賀大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	10,821	10,552	△269	(注1)
施設整備費補助金	638	597	△41	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	—	682	682	(注3)
国立大学財務・経営センタ 一施設費交付金	54	52	△2	(注4)
自己収入	17,490	19,531	2,041	
授業料、入学料及び検 料収入	4,237	4,178	△59	(注5)
附属病院収入	13,089	15,160	2,071	(注6)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	164	193	29	(注7)
産学連携等研究収入及び寄 附金収入等	1,117	3,113	1,996	(注8)
引当金取崩	64	55	△9	(注9)
長期借入金	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	—	—	
計	30,184	34,582	4,398	
支出				
業務費	27,514	26,218	△1,296	(注10)
教育研究経費	13,836	12,626	△1,210	
診療経費	13,678	13,592	△86	
一般管理費	—	—	—	
施設整備費	692	649	△43	(注11)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	—	769	769	(注12)
産学連携等研究経費及び寄 附金事業費等	1,117	1,279	162	(注13)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	861	861	—	
国立大学財務・経営センタ 一施設費納付金	—	—	—	
計	30,184	29,776	△408	
収入－支出	—	4,806	4,806	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当の支給が減少したことから、予算金額に比して決算金額が269百万円少額となっています。
- (注2) 予算金額については、638百万円と計上していましたが、計画変更に伴い、決算金額は597百万円となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたため、予算金額に比して682百万円決算金額が多額となっています。
- (注4) 予算金額については、54百万円と計上していましたが、交付金の減少に伴い、決算金額は52百万円となっています。
- (注5) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料減免額の増加及び入学志願者の減少により検定料収入が減少したこと等の理由により、予算金額に比して決算金額が59百万円少額となっています。
- (注6) 附属病院収入については、患者数や手術件数の増などに伴い増収となったことから、予算金額に比して決算金額が2,071百万円多額となっています。
- (注7) 雑収入については、主として特許権実施料収入の受入増により、予算金額に比して決算金額が29百万円多額となっています。
- (注8) 予算段階では予定していなかった国等からの受託研究・事業の獲得に努めたこと及び第1期中期計画期間からの繰越額1,722百万円を含めたことから、予算金額に比して決算金額が1,996百万円多額となっています。
- (注9) 任用計画の見直しにより、引当計上目的に従って当年度に使用した額が減少したため、予算金額に比して決算金額が9百万円少額となっております。
- (注10) 業務費については、退職手当の支給額の減少、給与改定による人件費の減少及び経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が1,296百万円少額となっています。
- (注11) (注2) 及び (注4) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が43百万円少額となっています。
- (注12) (注3) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が769百万円多額となっています。
- (注13) (注8) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が162百万円多額となっています。なお、前年度からの繰越額による使用額は544百万円となっています。